

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 5 月 7 日

評価対象事業	文観	-	16	観光振興事業				☐ 法定受託事務	
所管課	観光課				評価者	観光課長 中澤 準			
一般	会計	款	40	項	05	目	10		
総合計画上の位置付け	分野名	観光			施策の方針名		観光振興の推進		

1 事業の目的

対象	観光客等	意図	多様な観光プログラムと最新の観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラル向上を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	観光マップ等を活用し、観光客への適切な情報提供他。	観光マップ等を活用し、観光客への適切な情報提供他。	観光マップ等を活用し、観光客への適切な情報提供他。
予算額（千円）	26,540	60,446	
国県支出金	10,667	27,468	
地方債			
その他	1,500	1,180	
一般財源	14,373	31,798	0
当初人員配置数	6.3	6.3	0.0
人件費（千円）	18,003	18,904	0
事業実績	観光マップ等を活用し、観光客への適切な情報提供他。		
決算額（千円）	35,747		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	35,747	0	0
人員配置実績数	6.3	6.3	0.0
人件費（千円）	17,673	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7 (上段実績、下段経費（千円）)	R8	R9
活1	指標名	観光マップ等の資料請求数	件	2,665	⇒	2,305		
	実績につながる活動	観光客へ観光情報を提供することにより、ニーズに適切に対応する。				3,651		
活2	指標名	観光案内所における外国人観光客案内件数	件	100,830	⇒	96,927		
	実績につながる活動	外国人観光客に外国語での情報提供することにより、ニーズに適切に対応する。				21,815		
活3	指標名	混雑可視化マップのページビュー数	PV	523,932	⇒	533,284		
	実績につながる活動	混雑可視化マップを多くの方々に利用してもらい、混雑緩和を図る。				6,875		
活4	指標名	駅前ガイドの案内数	人	25,251	⇒	28,058		
	実績につながる活動	駅前ガイドを多くの方々に利用してもらい、混雑緩和及び快適な周遊観光を促す。				1,548		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	一部の国の日本への渡航控え。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	一部の国の日本への渡航控えがあったものの、それを補う他国からの渡航があったことから前年並みの結果となった。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No (最大3つ)
成1	観光旅行者の平均立寄地点数	地点	2.54	3	2.49			1 2 3

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	なし
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	市内一部地域での混雑があったため、全体としてやや微減の結果となった。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	活動指標は前年度並みの取組結果となったが、一部の地域で混雑が生じたため、成果指標が微減の結果となった。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	■ 国・県	■ 民間事業者 □ なし
	有効性	事業の成果	□ 十分に出ている	■ 概ね出ている	□ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	□ ある	■ なし	
		関連・類似事業との統合	□ できる	■ できない	
方向性	公平性	受益者負担	□ 導入済	□ 導入予定	■ 導入できない
		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	■ 事業内容は現状通り □ 事業内容は見直し済 □ 事業を休止又は廃止済 □ 他事業と統合済	⇒	■ ① 事業内容は現状通りとする □ ② 事業内容は見直す □ ③ 事業は休止又は廃止する □ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ □ 拡大 □ 縮小 □ その他 事業へ統合
	予算規模の方向性	■ 予算規模は現状維持 □ 予算規模は拡大済 □ 予算規模を縮小済	⇒	■ ① 予算規模は現状維持とする □ ② 予算規模は拡大する □ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	様々な手法を用いて観光客に適切な観光情報の提供を行うことで観光客の満足度を維持する結果につながったものと認識している。今後は、本市の課題であるオーバーツーリズムによる弊害を軽減させるため、分散観光や周遊観光を促すような施策も強化していく。			上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項		入込観光客数（上段：令和6年・下段：令和5年） 単位：千人							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	15,942	20,401	2,313	7,524	8,381	10,320	601	840	4,514
	12,284	19,608	2,813	6,921	8,326	8,911	638	853	4,709
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		県内全市町村が実施している入込観光客調査において、鎌倉市は県内5番目であるが、面積は4市よりも小さいことから他市に比べて観光客が密集していることが伺える。							